指針第２号様式

地　球　温　暖　化　対　策　実　施　状　況　書

１　地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者（届出者）の名称	ニチハマテックス株式会社
地球温暖化対策事業者（届出者）の住所	名古屋市中区錦２丁目１８番地１９号
工場等の名称	ニチハマテックス株式会社 大江工場
工場等の所在地	名古屋市南区加福町3丁目7番地
業種	製造業
業務部門における建築物の主たる用途	工場
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	繊維板製造業（ハードボードの製造）
計画期間	令和4年4月1日　～　令和7年3月31日

２　地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和5年7月25日　～　令和5年10月23日		
公表方法	○	掲示閲覧	（場所）　大江工場　業務課
		ホームページ	(HPアドレス)
		冊子	(冊子名・入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	052-611-2181		

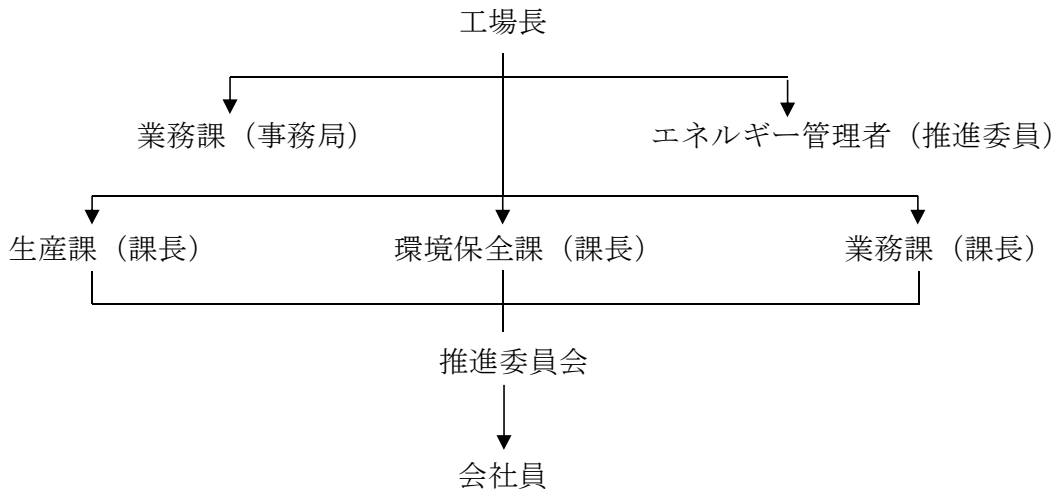
指針第２号様式

３　地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

（１）地球温暖化対策の推進に関する方針

当社は地球温暖化対策をはじめとする地球環境保全の重要性を認識し循環型社会の構築に貢献します。主要製品であるハードボードはノンホルム商品でもありグリーン購入法の対象品に指定されています。
(1)省資源、省エネルギー活動の推進工場で使用する電気、燃料等のエネルギー使用量を令和７年度までに令和３年度対比原単位で３％削減を目標とする。
高圧モーターの低圧化又、インバーター制御により電力使用量の削減に努めます。
(2)廃棄物の発生抑制、リサイクルの推進、産業廃棄物の発生の抑制と製品端材のリサイクルに努めます。

（２）地球温暖化対策の推進体制



指針第２号様式

４　温室効果ガスの排出の状況

計画期間　１　年度目（令和　４　年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		7,816	t-CO_2
温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）①を除く	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO_2
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO_2
	④メタン		t-CO_2
	⑤一酸化二窒素		t-CO_2
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO_2
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO_2
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO_2
	⑨三ふっ化窒素		t-CO_2
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO_2
温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		7,816	t-CO_2

５　温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（１）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量

項　　目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和　3　年度		令和　6　年度		令和　4　年度		令和　5　年度		令和　6　年度	
温室効果ガス総排出量		t-CO_2		t-CO_2		t-CO_2		t-CO_2		t-CO_2
削減率（対 基準年度）				%		%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO_2		t-CO_2		t-CO_2
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項　　目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和　3　年度		令和　6　年度		令和　4　年度		令和　5　年度		令和　6　年度	
原単位あたりの排出量	183.9	kg-C02／t	178.4	kg-C02／t	184.6	kg-C02／t		kg-C02／t		kg-C02／t
削減率（対 基準年度）			3.0	%	▲ 0.4	%		%		%
原単位あたりのみなし排出量						kg-C02／t		kg-C02／t		kg-C02／t
削減率（対 基準年度）						%		%		%

（２）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

高圧モーターの低圧インバータ化や高効率エアコンの導入などを実施してきたが
稼働時間当たりの生産量が少ない生産品種が多く
結果として昨年よりも原単位あたりの排出量が増加してしまった。
さらなる改善を進め排出量削減に努めたい。

備考１　温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
備考２　温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
備考３　原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
備考４　温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

指針第２号様式

６　温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

（１）自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー、省資源の行動の実践・冷暖房・照明機器・ＯＡ機器	冷房温度28℃、暖房温度20℃を徹底する。 空調機器の更新時は省エネ型を採用する。 工場内エアー漏れ点検、修理を重ねコンプレッサーの電力使用量の削減に努める。 パソコン、コピー機の退社時のスイッチオフを徹底する。		空調機器を省エネ型に更新した。（2台） エアー漏れの点検・修理も随時実施している。
工場等の製造工程における対策。 リサイクルの推進。	ポンプ、ファン、コンベア等の空転防止の徹底。　　生産能率を高めエネルギー原単位の向上を図る。		短時間の設備停止時にポンプの周波数を下げて消費電力を削減するよう回路変更を実施した。
自動車、構内リフトに関する対策。	急発進、急加速をしない。 アイドリングストップの励行。 フォークリフトの電動化		古いディーゼル式のフォークリフトを廃棄し、新たに電動式のフォークリフトを導入し、CO2削減を図った。

指針第２号様式

（２）再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア　計画期間　1　　年度目（ 令和　4　年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区　分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電　力		t-CO_2
熱		t-CO_2

（３）環境価値（クレジット等）の活用の状況

計画期間　1　年度目（ 令和　4　年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO_2
		t-CO_2
		t-CO_2
		t-CO_2

（４）みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO_2

（５）その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

名古屋市南区役所及び地域事業所と協力し、工場周辺の清掃を継続しています。 （1回/年）

（６）「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況